

2年1組 道徳学習指導案

- 1 主題名 あたたかい ころ
- 2 内容項目 B 親切、思いやり
- 3 資料名 「とくべつな たからもの」〈出典：光文書院〉
- 4 主題構成表

■内容項目

B 親切、思いやり

身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。

■内容項目から見た児童の実態 (意識)

・何かしら助けてあげたい、力になりたいという気持ちをもって接していることが多い。また友達に対しても、思いやりの心で親切にしている姿も頻繁に見られる。一方で、自分本位な行動をしてトラブルになってしまうこともある。

(要因)

・相手を助けたいという思いよりも、自分が楽しい、親や先生に褒められたいという思いが勝ってしまう。

■価値の分析

・よりよい人間関係を築いていくためには、温かい心で相手に接することが大切である。困っている人を見たときに、とっさに自分にできることはないかと考えて手を差し伸べようとする気持ちが温かい心である。

・幼い人や友達に温かい心をもって接することによって、相手への親切な行いが生まれると同時に、自分が人の役に立ったという喜びが生まれる。それがこれからの思いやりのある行動をしようとする意欲を高めるのである。相手の立場に立って考え行動することは、自己中心的な態度を改めたり、他者との人間関係を深めたりすることにもつながり、人間性をより豊かにしていくのである。

■教材の分析

・本教材は、くまが困っているねずみの子に会い、自分にできることを一生懸命考え実行するという話である。

・最初に「温かい心」に対してのイメージを膨らませて授業に入る。本授業で大切にすることに意識を向けて話し合うことにつながり、子どもが本時のねらいをしっかりとって授業に臨むことができるようになる。

・くまがねずみを助けた理由を話し合うことで、助けずにはいられない心やそのような心はだれもがもっていることに気付かせる。その時、「宝物を捨ててまで」ということなどを問い返し、自分にできることを考えて実行することのすばらしさにも気付かせたい。

■ねらい

人には困っている人を放っておけない心があることに気づき、相手のために今できる精一杯のことをしようとする心情を育てる。

■展開の構想

・たからものでいっぱいになったくまさんの嬉しい気持ちに十分共感させる。その上で、これまで集めた宝物を捨ててまで、ねずみの子を手助けしようとするくまさんの気持ちを役割演技で考えさせ、助けずにはいられない心に気付かせる。

・たった一つのどんぐりが「とくべつなたからもの」である理由を考えたり、ねずみの子の感謝の気持ちを押さえたりすることで、相手のために今できることを考えて動こうとする心が温かい心であることに気付かせ、価値の把握につなげる。

・これまでの生活を振り返り、相手のために今できる精一杯のことをしようとする心情を育てる。

■基本発問 (◎中心発問)

○かばんが宝物でいっぱいになった時、くまくんはどんな気持ちになっただろう。

◎どんな気持ちで、くまくんはこれまで集めた宝物を捨ててまでねずみの子を手助けたの？

○どんな気持ちで、ねずみの子をは、くまくにどんぐりを手渡したのかな？

○「とくべつなたからもの」とはどういうことでしょう。

5 他の教育活動との関連

【学級活動】

- ・班活動や係活動など
- ・思いやり宣言づくり

【道徳科】(本時)

「とくべつな
たからもの」

【すてき見つけの継続】

- ・親切にされた経験を交流し、親切にしようという思いにつなげる。

【ひびきあい活動】

